

平成 30 年 網走市議会
総 務 経 済 委 員 会 会 議 録
平成 30 年 1 月 16 日（火曜日）

○日時 平成30年 1 月 16 日 午前10時 5 分開会

○場所 委員会室

○議件

1. 所管事務調査について
2. 地方版図柄入りナンバープレートについて
3. その他

○出席委員（8名）

委 員 長	金 兵 智 則
副 委 員 長	立 崎 聡 一
委 員	小田部 照
	川原田 英 世
	永 本 浩 子
	古 都 宣 裕
	松 浦 敏 司
	渡 部 眞 美

○欠席委員（0名）

○委員外議員（1名）

議 長	工 藤 英 治
-----	---------

○傍聴議員（1名）

田 島 央 一

○説明者

副 市 長	川 田 昌 弘
企画総務部長	岩 永 雅 浩
企画調整課長	秋 葉 孝 博
企画調整課参事	北 村 幸 彦

○事務局職員

事 務 局 長	大 島 昌 之
次 長	細 川 英 司
総務議事係主査	寺 尾 昌 樹

午前10時 5 分開会

○金兵智則委員長 それでは、ただいまより総務経済委員会を開会いたします。

まず一つ目、初めに議件の 1 番目、所管事務調査についてであります。

閉会中の所管事務調査につきましては、網走市議会会議規則第69条において、常任委員会はその所管に属する事務について調査しようとするときは、その事項、目的、方法及び期間などをあらかじめ議長に通知しなければならないと規定されておりました、本手続につきましては、平成29年第2回定例会で確認済みとなっております。

そこで、地方版図柄入りナンバープレートについて総務経済委員会の所管事務調査として調査したいと思いますが、これに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

御異議がありませんので、地方版図柄入りナンバープレートについて所管事務調査として調査することといたします。

それでは続きまして、地方版図柄入りナンバープレートについて議件といたしまして、改めて地方版図柄入りナンバープレートについての説明を求めます。

○秋葉孝博企画調整課長 地方版図柄入りナンバープレートにつきまして御説明させていただきます。

初めに、これまでの地域住民の合意形成を図る取り組み経過につきまして若干説明をさせていただきます。

市内9カ所での「まちづくりふれあい懇談会」での説明を初めといたしまして、10月を意見募集期間として広報あばしり10月号、市公式ウェブサイトなどによる周知のほか、各コミュニティセンターなど公共施設にポスターを掲示し、周知を図ってまいりました。

この結果、52件の意見をいただきましたが、さらに多くの市民の声を聞く必要があると判断いたしまして、12月5日から市民アンケートを実施したところでございます。

このたび、その結果と今後の対応につきまして御説明させていただきます。

それでは資料1－1号をごらんください。

1、市民アンケート調査の結果についてであります、（1）調査結果の概要、①回収結果でございます。

回収数は820件、回収率は41%となりました。

次に、②「知床ナンバー」の導入についての調査

結果でございますが、ア、知床がよいが23.3%、イ、北見がよいが46.6%、ウ、どちらでもよいが29.6%、エ、無回答が0.5%となりました。

アンケート結果の詳細は、資料1－2号に取りまとめておりますので後ほどごらんいただきたいと存じます。

次に、(2) 調査手法でございますが、①実施時期は平成29年12月5日から平成30年1月9日まで、②対象者は市内居住の18歳以上の方から2,000名を無作為抽出とし、③調査方法は郵送により配布及び回収いたしました。

次に、2、導入申し込みの不参加についてでございますが、市民アンケート調査の回答数は820件であり、市民の声を反映しているものと考えられ、北見がよいが46.6%と最も多い結果となりました。

こうした結果を踏まえまして、今後、導入申込期限の3月末までに、地域住民のさらなる合意形成を図ることは困難と判断いたしまして、本件に係る正式な導入申し込みには不参加とすることを決定したところでございます。

説明は以上です。

○金兵智則委員長 質疑に入ります。

○川原田英世委員 1点ちょっと確認、まずしたいんですが。

今の説明を聞いたところ、北見がよいが46.6%ということで伺いましたが、このアンケート調査結果でいくと、北見がよいというところ、北見がよい(現在のまがよい)というふうに記載があるのと、北見がよいってだけがあって、アンケートをしたときは、これはどういった記載でアンケートを受けたのか、北見がよいって答えるのと現在のまがよいというので、ちょっと大分受け取り方が違うのかなとも思うのですから、そこをちょっとアンケートどういった記載になっていたのか確認させていただきたいと思います。

○秋葉孝博企画調整課長 設問自体は、この3つから選べるようになっておりまして、知床がよい、それから今御質問のあった北見がよいですが、ここはアンケートに回答いただく方にわかりやすいように括弧書きでアンケート調査にも(現在のまがよい)という記載をしたところです。

○金兵智則委員長 よろしいですか。

他にございますか。

○松浦敏司委員 方向性はわかったんですが、回収率としては、平均的なアンケートからすれば、どん

なふうに、高いのか、大体一般的なのか、その辺をまず伺いたいと思います。

○秋葉孝博企画調整課長 市で実施する、いわゆるアンケート調査につきましては平均率というのをを出してございませんので、高いか低いかは言えないですが、一般的には3割前後が一般的な回収率というふうに、これまでの経験上とらえておりますので、今回4割を超えておりますので高いほうというふうに考えております。

○松浦敏司委員 そういう意味ではアンケート調査という点では、それなりの根拠といえますか、そういったものが言えるんだろうというふうに思います。

それで、私も前回も言ったんですけども、やはり、お茶懇などでいろんな市民の率直な声を聞くと、やっぱりこの知床にする意味がわからないという声が圧倒的なんですね。

それと、変えるんなら網走というふうになぜないんだというようなこともあったり、いずれにしてもこれまで、知床にするんならこれまでがいいし、変えるなら網走がいいんだと、こういう声が圧倒的でした。

今まで私が接した限りでは、知床にしたほうがいいっていうのは、残念ながら私の範囲内ではゼロでした。

ほとんどが反対で、どちらか、どちらでもいいっていう人が中には若干いましたけれども、そういう意味では、今、資料見せていただいて、なるほどそうなのかなというふうにも感じるんですが、この年齢別や、あるいは性別でいろいろ出されているんですけども、この辺で調査した結果、どんなふうな印象といいますか、お持ちなのか、わかる範囲で伺いたいと思いますが。

○秋葉孝博企画調整課長 アンケート調査の概要ですが、資料1－2号の3ページをごらんいただきたいと思います。

下段にあります②年代別でそれぞれ、知床、北見、どちらでもよいを示しておりますが、特にその40歳代、それから50歳代が、北見がよい、現在のまがよいというのが5割を超えているということで、今、車をよく使われる年代の方がそういう判断をいただいていることと、1枚めくっていただきまして4ページでございますが、運転免許の有無、それから自動車保有の有無につきましてもアンケートをとっております。

両方とも持っている方のほうが、現状を望む声が多いという傾向というふうにとらえております。

ほかにも意見には、自由記載を設けておりまして、いろんな意見をいただいたんですが、賛成の方はやはり知床の観光、それから一体的な玄関口であるというお話と、やはりその北見に比べて知床のほうが圧倒的に知名度が高いので、すべきだという御意見もいただきました。

一方、今、委員おっしゃったような反対の声の方は、どちらかというと網走は知床じゃないと、アンケートにはQ&Aを簡単なわかりやすいものをつくりまして、網走ができない状況も説明をしているんですけども、中にはやはり網走でないなら現状のままがいいという御意見もいただきました。

そういった現状を望む声を考えますと3月までになかなか、その方たちがどんな説明なり時間をかけてもなかなかそこは意見としては変わらないのかなというふうに判断したところです。

○松浦敏司委員 これは数年前から、地方版というのが本州のほうで随分やり始めたのがきっかけなんだろうというふうに思いますが、やっぱりそういった歴史があって、その地域の、その思いがあって、そういう動きになって地方版のプレートっていうのができてきたんだろうというふうに思うんですが、やっぱりまだまだこの地域においては、そういう雰囲気といいますか、状況になっていないのかなというふうに思ったのと、この4ページなんかで見ると、自動車を保有していない人でもやはりこれまでのままのほうが、北見がよいというような数字も出ていて、そういう意味では、やっぱり昔は「北」というだったんですけども、その後「北見」になったんですが、これにやっぱり皆さん、愛着は逆に持っていて、知床に変えるそのものの意味がなかなか理解されていないのかなと、さきほど課長が言われたように、なぜ知床なのかと、網走は知床ではないぞと。知床連山は見えるけれども知床ではないという声が本当に私のところにも多くて、そういう意味では、今回のこの調査なかなかわかりやすい調査の資料になっていて、そういう意味では非常に、結果としてはね、3月を待たずにこの時点で不参加ということを決めたという点では、もっともなことなのかなというふうに思ったところです。

以上です。

○金兵智則委員長 他にございますか。

○古都宣裕委員 1点ちょっと伺いたかったんです

けれども、今回知床ナンバーを導入しようという経過もある中で、知床ナンバーにしたほうがメリットがあるんじゃないかという思いから、もちろんその検討をしたんだと思うんですけども、今回このアンケート結果等いろいろ受けた上で総合的に判断して、参加しないと判断をされたと思うんですけども、仮にですね、今回この判断を受けたときに、今回は北見がよいというのが、すごい水があげた形で、総体的にやらないほうがいいという判断を出したと思うんですけども、方向感覚としてどれぐらいだったら、まだ3月の時点で、まだ行くような感覚を持った上で、調査とか、これだけあげたからやめたっていうんじゃないくて、ある程度何か持っていたと思うんですけども、どのような形で考えていたのかなっていうのを一点知りたかったんですけど。

○岩永雅浩企画総務部長 さきの議会、一般質問でもお答えしていますが、結果を見て総合的に判断をしたいというふうにお話していました。

なので、どちらかが過半数をとった、どちらが多いか少ないかだけではなくて、さきほど課長も説明しましたが、各年代層がどういうふうな意向を持っているのか、あるいは仮定の話ですからちょっとお答えしづらい部分がありますが、もしこれが若い方が圧倒的に変えた方がいいということであればまた判断も違ったということもあり得ると思いますし、40代、50代の方がまた結果が変われば、判断も同じ、全体像として同じだとしても、詳細検討した結果、賛成意見は少ないけども、導入に向かって進むということもあり得たというふうには考えています。

○金兵智則委員長 他にございますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

なければ、これで終了いたします。

続きまして、その他、各委員、理事者側より何かございますでしょうか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

なければ、これで総務経済委員会を閉会いたします。

お疲れさまでした。

午前10時19分閉会